What's New for

Avid[®] Media Composer[®] v2020.12

Media Composer v2020.12 の新機能

以下の機能が追加されました。

新機能

- Alpha Matte のトランスコード
- H.265 サポート
- シークエンス間で異なるメディアのみをエクスポート
- Avid Titler+アップデート
- ビンコンテナサイドバーの開いているビンへアイテムをドラッグ
- ビンファストメニューをボタンにマッピング
- フローティングパネルウインドウ
- Interface 設定アップデート
- ユーザープロファイルの検索
- PhrseFind と ScriptSync の追加言語
- MOV、MP4、OpenEXR のエクスポート時のカラースペース設定
- MOV、MP4のエクスポート時のAACオーディオフォーマットサポート
- オーディオミキサーアップデート
- ACES 追加サポート

Alpha Matte のトランスコード

これまでのバージョンでは、リンクされた Alpha Matte のコンソリデート/トランスコード はサポートされていませんでした。Media Composer v2020.12 では、通常のタイトルやイン ポートされた Alpha Matte と同様、リンクされた Alpha Matte クリップでもコンソリデート/ トランスコードできます。



レガシータイトルの Craw1/Ro11 タイトルはコンソリデート/トランスコードできません。

H.265 サポート

H.265 メディアのリンク、再生、エクスポートをサポートしました。

H.265 メディアにリンクするには:

1. [ファイル]>[入力]>[ソースブラウザ]を選択します。

ソースブラウザウィンドウが開きます。

- 2. 左下の[リンク]ボタンを選択します。
- 3. リンクしたい H.265 ファイルがある場所へ移動します。Ctrl+クリック または Shift+ク リックで複数のファイルを選択できます。
- クリップをビンにドラッグするか、右下の[保存先ビン]でリンクを保存するビンを選 択します。

アースブラウザウインドウでファイルを選択し、右クリック > [ビンに追加…] でもリン
 クできます。

5. リンクされたクリップを使って、シークエンスを編集します。

シークエンスやマスタークリップを H.265 でエクスポートするには:

- 1. エクスポートしたいシークエンスまたはマスタークリップを選択します。
- [ファイル]>[出力]>[ファイルにエクスポート...] または シークエンスを右クリック> [アウトプット]>[ファイルにエクスポート...]を選択します。
- 3. ファイル名を入力します。
- 4. ファイルを保存したい場所を設定します。
- [Options...] をクリックします。
 エクスポート形式ウインドウが開きます。

	UME File Export	
		acks
Video		
Source Raster		
	• Project Haster	2046x1152
	Enable Mask Margins	10000000000
	Crop to Mask Margins	2048x1152
	2K 2048x1152	
	W: 2048 🔒 H: 1152	
	1,000,1	•
	Stretch	*
Frame Rate		
	29.97p	÷
Output Color Space:	Rec.709 / Rec.709	
Codec Family:	HEVC	
	H.265/HEVC Main 10 Profile	· ·
	10 bit	*
		×
	Balanced	*
	Constant Bit Rate	
		25.00 Mbps
	Keep as Legal Range	
	Scale from Legal to Full Range	
 Audio 		
Format	PCM	
Save As		ave Cancel

- 6. エクスポート形式として [MOV] または [MP4] を選択します。
- 7. [コーデックファミリー] で [HEVC] (High Efficiency Video Coding:別名 H.265) を選択 します。
- 8. 以下から選択します。

オプション	内容
コーデックファミリー	H.265 でエクスポートするときは、HEVC を選 択します。
Compression	H.265/HEVC Main Profile または H.265/HEVC Main 10 Profile の2つの選択肢から選択します。[Main] は Rec.709 8bit、[Main 10] は Rec.2020 10bit を サポートします。
Color Depth	上記 Compression の設定によって変わります。
Tier	サポートされる最高ビットレートに関連しま す。この設定を変更することで、ターゲットビ ットレートと最高ビットレートの範囲を変更で きます (Target Bit Rate スライダーの選択範囲が 広がります)。[Main] または [High] から選択し ます。
品質	[Fastest] [Fast] [Better] [Best] から選択します。 画質を上げるほど処理速度が遅くなります。画 質を下げれば処理速度が早くなります。
Encode Mode	[Constant Bit Rate] または [Variable Bite Rate Single Pass] から選択します。作品をストリー ムする予定のときは、Constant を選ぶのが普通 です。ダウンロードして処理速度が異なるデバ イス間で再生する予定があるときは Variable を 選択します。
Target Bit Rate	ターゲットビットレートを設定します。
Video Levels	[Keep as Legal Range] または [Scale from Legal to Full Range] から選択します。

9. その他の設定を確認して設定します。

10. [保存] をクリックします。

指定した場所にファイルがエクスポートされます。

シークエンス間で異なるメディアのみをエクスポート

2つのシークエンスを比較し、両者間で異なっているメディアだけをエクスポートすること ができます。このオプションは、AAFエクスポート時に[すべてのメディアをコピー]を選 択したときにのみ有効です。

	Export Settin	ngs - Untitled
Export As:	AAF	Use Marks
🖌 🖌	t Protocol	 Include Inactive Audio Tracks
🗌 Pro Toc	ols 10/12 compatibility	Enable Mask Margins
Include All Vide	o / Data Tracks in Seque	ence
🖌 Include Audio T	racks in Sequence	All Tracks 🔻
	Audio Details	
Export Method:	Copy All Me ide Video Media from a l	edia Previous Sequence

シークエンス間で異なるメディアのみをエクスポートするには:

- 1. エクスポートしたいシークエンスを右クリックします。
- 2. [アウトプット]>[ファイルにエクスポート...]を選択します。
- 3. エクスポートウインドウで [Options...]を選択します。
- [エクスポート形式]として AAF を選択します。[エクスポート方法]として [すべての メディアをコピー] が選択されていることを確認してください。(このオプションの詳 細については、Help メニューの "Export Settings: AAF" をご参照ください)
- 5. ビデオ、オーディオ、または両方の [Ask to Exclude Media from a Previous Sequence] オ プションを選択します。
- 6. [保存]をクリックします。
- 7. ファイルを保存したい場所を選択します。
- 8. [保存]をクリックします。
- 9. [Exclude Media Referenced from Sequence] プルダウンメニューから、比較対象としたい シークエンスを選択します。

Select Sequence							
Exclude Media Referenced from Sequence							
None							
None							
Episode 11 Bin 🔸	EpisodeOpen04	Cancel					
	EpisodeOpen03						
01:00:40:0	EpisodeOpen02	01:00:5					
	EpisodeOpen01						

10. [OK] をクリックします。

Media Composer は最初のシークエンスに含まれていないクリップのみをエクスポート します。

Avid Tiler+アップデート

Avid Titler+ にいくつものアップデートが加えられました。ショートカットが追加されました。テキストモード、移動モードが追加され、テキストやオブジェクトの移動がよりやり

やすくなりました。さらに、縦書きがサポートされました。

ショートカットの追加

以下のショートカットが追加されました。

• Ctrl+B、Ctrl+U、Ctrl+I:太字、アンダーライン、斜体を選択します(フォントがサポ ートしている場合のみ)

レイヤーが選択されているときは:

- Ctrl+G、Ctrl+U:グループ、グループ解除の選択
- Ctrl+Shift+L、Ctrl+Shift+E、Ctrl+Shift+R: 左、中央、右揃え
- Ctrl+Shift+C:中央に設定 (X,Y)

テキストモード

テキストモードでは、画面上のどこにでもテキストレイヤーを作成し、文字をタイプできます。すでに作成したテキストレイヤーを編集することも可能です。テキストモードに入るには、何もないエリアをダブルクリックするか、Tボタンをクリックします。

テキストモードから出るには:

- ESC キーを押します
- 何もないエリアをクリックします
- テキストボタンをオフにします
- 別のモードに入ります

何もないエリアをクリックした後、何も文字を入力しなかったときは、テキストモードを 終了すると空のレイヤーは削除されます。

移動モード

移動モードでは、テキストそのものを変更する恐れなく、オブジェクトやテキストの位置 や属性を変更できます。移動モードに入るには、テキストのどこかをクリックすると、文 字の周りにバウンディングボックスが表示されます。ここで色やシャドーなどの属性を変 更すると、ボックス内のすべての文字に変更が適用されます。

テキストをダブルクリックすると、テキストモードに入ります。

縦書き

縦書きをサポートしました。



垂直方向の位置合わせ

垂直方向の位置合わせボタンが追加されました。

								AVIG 11	Der*			
			al				Size				Т	
в	1	ш				« 🚺	Ang	gie 135,0	۲			0
di.	ψ	ih	÷	÷							B	це Пъ
											1+	+
ŧ.	to				Bkgd							

テキストを垂直方向に位置合わせするには:

- トップボタンをクリックすると、画面上端に合わせます
- センターボタンをクリックすると、画面中央に合わせます
- ボトムボタンをクリックすると、画面下端に合わせます

ロール/クロールのスクロールバー

ロール/クロールの編集中に、その操作をよりスムースにするための新しいスクロールバー が追加されました。



[Effect] タブのプルダウンメニューから Roll または Crawl を選択し、[Edit Mode] を選択する と、ビューワー上にスクロールバーが表示されます。ロールのときは画面右端に、スクロ ールのときは画面上部に表示されます。これにより、ロール/スクロールの設定がよりわか りやすくなります。

ビンコンテナサイドバーの開いているビンへアイテムをドラッグ

ビンコンテナサイドバーヘビンのアイテムを直接ドラッグすることができます。

ビンコンテナサイドバーの開いているビンへアイテムをドラッグするには:

- 1. 別のビンへ移動したいアイテムを選択します。
- ビンコンテナサイドバーの開いているビンに向かってドラッグします。ドラッグ中には、移動しているアイテムの数が表示されます。

アイテムをドロップすると、アイテムが移動します。

ビンファストメニューをボタンにマッピング

ビンファストメニューがキーにマッピングできます。詳細は Help メニューの "Mapping Bin Fast Menu Commands" をご参照ください。



ビンメニューはキーにマッピングすることを想定しています。使用するときはビンを選択し てから使用してください。ビンファストメニューコマンドをツールパレットにマッピングし ないでください。

フローティングパネルウインドウ

フローティングウインドウでパネル化できます。



價

最小サイズになるツールもあります。この場合必要に応じてサイズを変更してください。

Interface 設定アップデート

Interface 設定に、新しい Brightness スライダーが 2 つ追加されました。ビンのアイコンと文字の明るさを調整するスライダーと、ビン選択時のハイライトの明るさを調整するスライダーです。

	Interface - Current		
ieneral Bins Tin	eline & Viewers		
Bin icons and text brig Bin highlight brightnes	thess	- 0	
Use a custom back	round color for all Bin Container Sid	lebars	
Bin Container Sidet	ar font		
Font size for all Bin	Container Sidebars		

インターフェースの明るさの調整

インターフェースの明度の調整に、「より暗い」オプションが追加されました。インター フェースの明度を調整するには、[ファイル]メニュー>[設定]>[User]タブ>[Interface] 設 定を開き、[全般]タブをクリックしてください。

	Interface -	Current		
General Bins Timeli	ne & Viewers			
interface orightness				
	Selected	Unselected	6	
	Line Text		<u>т</u>	
	Line Text			
Highlight color				
Closing a docked tool v				
Show tooltips				
Windows Standard Alt				
		OK	Cancel	мррку

ソース/レコードモニターの背景色

ソース/レコードモニターの背景色を自由に設定できるようになりました。

- 1. [ファイル]メニュー>[設定]を選択します。
- 2. [Interface] 設定をダブルクリックします。
- 3. [タイムラインとビューアー]タブをクリックします。
- [Use custom viewer background] をチェックして有効にします。カラーパレットをクリックし、希望の色を選択してから [OK] をクリックします。[適用] をクリックします。 ソース/レコードモニターの背景色が指定した色に変更されます。

Interface - Curre	nt	×
General Bins Timeline & Viewers		
Timeline and Composer icon brightness Metadata text brightness 🗹 Use custom viewer background		
 Show Source/Record colors in Composer Show Source/Record colors in Timeline 		
Default Timeline V tracks Default Timeline A tracks Default Timeline TC tracks Use custom Timeline background Use blending based on skin		
		Apply

スキンとのブレンドモード

カスタムカラーと現在のスキンで設定されている色とをブレンドします。

Interface - Curren	×
General Bins Timeline & Viewers	
Timeline and Composer icon brightness Metadata text brightness Use custom viewer background	
 Show Source/Record colors in Composer Show Source/Record colors in Timeline 	
Default Timeline V tracks Default Timeline A tracks Default Timeline A tracks Default Timeline TC tracks Use custom Timeline background Use blending based on skin	
	OK: Cancel Apply

- これを選択すると、現在のスキンで選択されている色とカスタムカラーで設定した色 とがブレンドされ、色がソフトになります。
- 選択していないと、カスタムカラーで設定した色がそのまま表示されます。

ビンコンテナサイドバーの変更

ビンコンテナサイドバーに以下の変更がされました。

- ビンカラーカラム:ビンの背景色を表示するカラムが追加されました。カラーカラム を表示するには、少なくとも一度ビンを開き、背景色を設定してください。
- ビンをソート:サイドバー内でビンをソートできます。

				· ····	р ×		x Int X	
	Q					Control of a line of a		0=
\$	ccarr_SSyncDocScript1080/59 Script					1449	Oradian Date	
	Complex Timeline Sequence Map				=8	GOPR0056	11/12/2020 16:24:08	
-		868K			-	GOPR0207_0114.png	9/22/2016 14:42:07	
	Hebrew	260K				SMPTE_Bars.tif.Grp.01.new.02	6/15/2016 15:51:57	
	ImportedStills	443K				MultiGroup.01	9/24/2018 13:10:04	
	Ithaca					SMPTE_Bars.tif.Grp.02_three	11/4/2015 16:34:38	
\$	JapaneseToyotaScriptFromOldMC Script				-	Ramp1-254.tif.new.01	6/15/2016 15:51:55	
4	JapaneseToyotaScriptFromOldMCUTF8 Script					BWRamp.tif.new.01	6/15/2016 15:51:55	
	ListToolinfiniteLoop		1.6		=8	GOPR0164	6/17/2019 17:01:54	
4	LotsOfCommentsInTL Script				=8	GOPR0163	6/17/2019 17:01:53	
	LotsOfCommentsInTL	389K				GOPR0162	6/17/2019 17:01:52	
	Media				=8	GOPR0159	6/17/2019 17:01:50	
-	Pompeii - 2				=8	G0P80115	6/17/2019 17-01-49	

ユーザープロファイルの検索

[Reveal User Profile] メニューから、Windows または macOS のユーザープロファイルフォル ダーを検索できます。

ユーザープロファイルを検索するには:

- 1. 以下のどれかを実行します:
 - ▶ [ファイル] メニュー>[設定] を選択し、[User] タブをクリックします。[ユーザー設 定] プルダウンメニューから [Reveal User Profile] を選択します。

•	Form	nat	Project		User	 s	ite
-	User Profile:						
⊗	Setting	dpimm ncourtne			Name		^
	Audio						
	Audio D	Create Us	er Profile				
Ë	Bin	Reveal Us	er or User Profile	e			
	Bin Viev	Export Us	er or User Profil	e			
<u> </u>		Update U	ser Profile		Basic		
	Bin '	View			Capture		
	Bin '	View			Custom		
	Bin '	View			Film		
	Bin '	View			Format		
	Bin '	View			Media Tool		
	Bin '	View			Statistics		
	Capture						
	Color M	anagemen					
	Compos	ser					

▶ [プロジェクトを選択] 画面から [ユーザー設定] プルダウンメニューを開き、 [Reveal User Profile] を選択します。

		Projects	New Project	
User Profile:		nco		
Location:	dpimm ✓ ncourtne	2		
	Create U	ser Profile		
	Import U	lser or User Profile		
e Frame Rate	Reveal U	ser Profile		

システムがすべてのアクセス可能なドライブを検索し、Windows Explorer またはフォ

ルダー (Macintosh) の中のユーザープロファイルをハイライト表示します。

PhraseFind と ScriptSync の追加言語

PhraseFind と ScriptSync に以下の言語が追加されました。

- オランダ語
- インドネシア語
- スウェーデン語
- タガログ語

Media Composer は初回インストール時に英語のランゲージパックを同時にインストールします。追加言語をインストールするには、ご自身の Avid マスターアカウントから必要なランゲージパックをダウンロードしてください。

MOV、MP4、OpenEXR のエクスポート時のカラースペース設定

MOV、MP4、OpenEXR4 エクスポート時に、カラースペースを設定できます。

	Divit File Export	
	Use Marks	
port As: MOV	 Use Selected Tracks 	
	🖌 Include Inactive Audio Ti	
Frame Rate		
Output Frame Rate:	59.94	
Color Space		
Output Color Space	Per 709 Gamma 2.2	105
Video Levels:	Keep as Legal Range Scale from Legal to Full Range	
Codec Family:	H.264	
	H.264	
Color Depth:	8 bit	
Encode Mode:	Variable Bit Rate Single Pass	
Target Bit Rate:	-0	20.00 Mbps
Max Bit Rate:	0	20.00 Mbps
🖌 Audio		
	PCM	
	Mono	
Sampling Rate:	48000 Hz	

リーガルレンジ-フルレンジのカラースケーリングも可能です。

MOV、MP4、OpenEXR のエクスポート時の AAC オーディオフォーマット サポート

MOV、MP4 エクスポート時に、オーディオのオプションとして AAC (Advanced Audio Coding) を選択できます。

	UN	1E File Export	
		Use Marks	
Export As: MOV	•	Use Selected Tracks	
		Include Inactive Audio T	racks
Frame Rate			*
Project:	29.97p		
Output Frame Rate:		60p	*
Color Space			
Project:	DCI P3		
Output Color Space:		Rec.709 / Rec.709	*
Compression			
Codec Family:		DNxHR	•
Compression:		DNxHR HQ	•
Color Depth:		8 bit	•
Video Levels:	() Keep	as Legal Range	
	Scale	from Legal to Full Range	
 Audio 			
Format:	[AAC	- I
Mix		Stereo	×
Sampling Rate:		48000 Hz	•
Save As		Saue	Cancel

オーディオミキサーアップデート

ウインドウの幅にしたがって、フェーダーの表示がダイナミックに変更されるようになり ました。

オーディオミキサーファストメニューから、表示させたいアイテムを選択できます。例え ばソロ/ミュートボタンを非表示にすると、ソロ/ミュートボタンがウインドウ上に表示され なくなります。

	_	_	_	_	_					
Tracks 🔻 🔺 <		ereo	* Clip	Auto	Live		= min 🗙 O 👩 🗆			
A1 A2	œ			œ		Stereo	Set Level On Track - Global Set Pan On Track - Global			
A3 A4	((Adjust Pan/Vols On Track - Global			
A5 A6	MID	MID			The second		Remove Clip Gain On Track - Global			
~	+	+	+	+	1	+ Remove Clip Pan On Track - Glob				
	+12-	+12-	+12-	+12-		0+	Remove Default Clip Pan On Track - G			
	+9-	+9-	+9-	+9-		4+	Commit Default Clip Pan On Track - G			
	+6-	+6-	+6+	+6-		-8+	Remove Pan/Vols On Track - Global			
-	+3-	+3-	+3-	+3-		-14+	Group/Link/Mirror			
	0	0-	0-	0-		-0	Pan controls			
Groups	-3-	-3 -	-3-	-3-		-20-	 Effect buttons 			
Untibed	-7-	-7-	-7-	-7-			/ Solo/Mute			
	-11-	-11-	-11-	-11-			Faders/Meters			
	-15-	-15-	-15-	-15-		-30	Display visibility priority			
	-30-	-30-	-30-	-30 -		-40				
	-45-	-45-	-45-	-45-		-65	5A-15A 5A-18 _16 T3 OK			
	-00-	-00-	-00-	-00-		-9000				
	0.0	0.0				0.0	100 A 100 A			
	A1	A2	EA	A4	Ä	Master	T2 OK T2 O			

オーディオミキサーファストメニューから [Display Visibility Priority] を選択すると、 Dynamic Visibility が有効なときに、ウインドウサイズを変更した際のツール表示の優先順 位を設定できます。

Display visi	ibility priority						
When the audio mixer tool is resized channel strip functionality can be dynamically hidden/shown							
Allow dynamic visibility							
Drag Items in the list to define vi Top of list = highest priority.	sibility priority.						
Faders/Meters							
Solo/Mute							
Group/Link/Mirror							
Pan controls							
Effect buttons							
	Cancel	Save					
	والمستعملة الاستعمال						

ファストメニューのコマンドはキーボードにマッピングできます。また、別のトラックに 設定したエフェクトを別のトラックにコピー/ペースト/移動することもできます。ミキサー ウインドウのサイズを小さくすると、マスターフェーダーは右端に固定され、その他のフ ェーダーを表示するためのスクロールバーが現れます。

	_	_	_		_	_	_	_	- + ×
0	Trac	iks 🔻 🔨		S	tereo	▼ Clip Auto Li		Live	
⊗		A1 A2							Stereo 🔻
Mixer		A3 A4 A5		MID					
Audio		A7		+	+	+	+	+	+
					S M				
				+12-	+12-	+12-	+12-	+12.	0+12
				+9-	+9-	+9-	+9-	+9·	-4+9
				+6-	+6-	+6-	+6-	+6.	-8+6
	•		Þ	+3-	+3-	+3-	+3-	+3·	-14
	Group			0-	0-	0-	0-		-0
	U	ntitled		-3-	-3-	-3-	-3-		-20
				-7-	-7-	-7-	-7-	-7.	-26
				-11-	-11-	-11-	-11-	-11	-30
				-15-	-15-	-15-	-15-	-15.	-35
				-30-	-30-	-30-	-30-	-30.	-40
				-45-	-45-	-45-	-45-	-45	-65
				-00 -	-00 -	-00-	-00-		-90co
				0.0					0.0
				A2	A3	A4		A6	Master
				•	_			Þ	

オーディオミキサーツールにスクロールバーが表示されます。

シークエンスのミックスフォーマットメニューも、マスターフェーダーの上部に固定表示されます。

ACES 追加サポート

CLF (Common LUT Format) ファイルのインポートをサポートしました。CLF ファイルは 適切なカラー変換を提供し、.cube と同様の方法でインポートできます。

CLF ファイルをインポートするには:

- 1. 以下のどれかを実行して、Color Management 設定を開きます:
 - ▶ [ファイル] メニュー>[設定] を選択し、[User] タブから [Color Management] をダブ ルクリックします。
 - クリップを右クリックし、[ソース設定]を選択します。[カラーエンコーディング]
 タブをクリックし、[カラー管理設定...]をクリックします。

Color Managem	ent Settings	×
S Insert color transformations automatically in the sour	ce settings upon linking.	
Use CDL values from ASC_SOP and ASC_SAT bin colun	nns when available.	
Map white point of SDR media to: 50% for HLG and 1		
Map white point of SDR media to: 75% for HLG and 2		
	Shared	
• Shared		
Select LUT file		

- 2. [LUT ファイルを選択] をクリックします。
- 3. .clf ファイルがある場所を開きます。
- 4. [開く] をクリックして.clf ファイルをインポートします。必要なクリップに clf を適用 することができるようになります。

Legal Notices

Product specifications are subject to change without notice and do not represent a commitment on the part of Avid Technology, Inc.

This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the software. The product may only be used in accordance with the license agreement.

This product may be protected by one or more U.S. and non-U.S patents. Details are available at www.avid.com/patents.

This document is protected under copyright law. An authorized licensee of Avid Media Composer may reproduce this publication for the licensee's own use in learning how to use the software. This document may not be reproduced or distributed, in whole or in part, for commercial purposes, such as selling copies of this document or providing support or educational services to others. This document is supplied as a guide for Avid Media Composer. Reasonable care has been taken in preparing the information it contains. However, this document may contain omissions, technical inaccuracies, or typographical errors. Avid Technology, Inc. does not accept responsibility of any kind for customers' losses due to the use of this document. Product specifications are subject to change without notice.

Copyright © 2020 Avid Technology, Inc. and its licensors. All rights reserved.

The following disclaimer is required by Apple Computer, Inc.:

APPLE COMPUTER, INC. MAKES NO WARRANTIES WHATSOEVER, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, REGARDING THIS PRODUCT, INCLUDING WARRANTIES WITH RESPECT TO ITS MERCHANTABILITY OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE. THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES IS NOT PERMITTED BY SOME STATES. THE ABOVE EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU. THIS WARRANTY PROVIDES YOU WITH SPECIFIC LEGAL RIGHTS. THERE MAY BE OTHER RIGHTS THAT YOU MAY HAVE WHICH VARY FROM STATE TO STATE.

The following disclaimer is required by Sam Leffler and Silicon Graphics, Inc. for the use of their TIFF library:

Copyright © 1988–1997 Sam Leffler Copyright © 1991–1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software [i.e., the TIFF library] and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The following disclaimer is required by the Independent JPEG Group:

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

This Software may contain components licensed under the following conditions:

Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (C) 1989, 1991 by Jef Poskanzer.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. This software is provided " as is" without express or implied warranty.

Copyright 1995, Trinity College Computing Center. Written by David Chappell.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. This software is provided " as is" without express or implied warranty.

Copyright 1996 Daniel Dardailler.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Daniel Dardailler not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Daniel Dardailler makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided " as is" without express or implied warranty.

Modifications Copyright 1999 Matt Koss, under the same license as above.

Copyright (c) 1991 by AT&T.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED " AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR AT&T MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

The following disclaimer is required by Paradigm Matrix:

Portions of this software licensed from Paradigm Matrix.

The following disclaimer is required by Ray Sauers Associates, Inc.:

"Install-It" is licensed from Ray Sauers Associates, Inc. End-User is prohibited from taking any action to derive a source code equivalent of "Install-It," including by reverse assembly or reverse compilation, Ray Sauers Associates, Inc. shall in no event be liable for any damages resulting from reseller's failure to perform reseller's obligation; or any damages arising from use or operation of reseller's products or the software; or any other damages, including but not limited to, incidental, direct, indirect, special or consequential Damages including lost profits, or damages resulting from loss of use or inability to use reseller's products or the software for any reason including copyright or patent infringement, or lost data, even if Ray Sauers Associates has been advised, knew or should have known of the possibility of such damages.

The following disclaimer is required by Videomedia, Inc.:

"Videomedia, Inc. makes no warranties whatsoever, either express or implied, regarding this product, including warranties with respect to its merchantability or its fitness for any particular purpose."

"This software contains V-LAN ver. 3.0 Command Protocols which communicate with V-LAN ver. 3.0 products developed by Videomedia, Inc. and V-LAN ver. 3.0 compatible products developed by third parties under license from Videomedia, Inc. Use of this software will allow "frame accurate" editing control of applicable videotape recorder decks, videodisc recorders/players and the like."

The following disclaimer is required by Altura Software, Inc. for the use of its Mac2Win software and Sample Source Code:

©1993–1998 Altura Software, Inc.

The following disclaimer is required by Ultimatte Corporation:

Certain real-time compositing capabilities are provided under a license of such technology from Ultimatte Corporation and are subject to copyright protection.

The following disclaimer is required by 3Prong.com Inc.:

Certain waveform and vector monitoring capabilities are provided under a license from 3Prong.com Inc.

The following disclaimer is required by Interplay Entertainment Corp.:

The "Interplay" name is used with the permission of Interplay Entertainment Corp., which bears no responsibility for Avid products. This

product includes portions of the Alloy Look & Feel software from Incors GmbH.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (http://www.apache.org/).

© DevelopMentor

This product may include the JCifs library, for which the following notice applies:

JCifs © Copyright 2004, The JCIFS Project, is licensed under LGPL (http://jcifs.samba.org/). See the LGPL.txt file in the Third Party Software directory on the installation CD.

Avid Interplay contains components licensed from LavanTech. These components may only be used as part of and in connection with Avid Interplay.

Attn. Government User(s). Restricted Rights Legend

U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS. This Software and its documentation are "commercial computer software" or "commercial computer software documentation." In the event that such Software or documentation is acquired by or on behalf of a unit or agency of the U.S. Government, all rights with respect to this Software and documentation are subject to the terms of the License Agreement, pursuant to FAR §12.212(a) and/or DFARS §227.7202-1(a), as applicable.

Trademarks

Avid, the Avid Logo, Avid Everywhere, Avid DNXHD, Avid DNXHR, Avid Nexis, AirSpeed, Eleven, EUCON, Interplay, iNEWS, ISIS, Mbox, MediaCentral, Media Composer, NewsCutter, Pro Tools, ProSet and RealSet, Maestro, PlayMaker, Sibelius, Symphony, and all related product names and logos, are registered or unregistered trademarks of Avid Technology, Inc. in the United States and/or other countries. The Interplay name is used with the permission of the Interplay Entertainment Corp. which bears no responsibility for Avid products. All other trademarks are the property of their respective owners. For a full list of Avid trademarks, see: http://www.avid.com/US/about-avid/legal-notices/trademarks.

Adobe and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple and Macintosh are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries. Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks contained herein are the property of their respective owners.

What's New for Media Composer • Created 12/17/20